

## トピックス

### TOKYO X-Associationが定例総会を開催 —東京オリンピック・パラリンピックと連携したPR展開へ—

東京都のブランド豚肉「TOKYO X」の流通関係者らで組織する「TOKYO X-Association」(会長=㈱ミートコンパニオン・植村光一郎常務取締役)の平成28年度定例総会、生産者交流会が5月10日、京王プラザホテル(東京都八王子市)で開催された。

今年度の総会では、東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みが承認された。東京都が東京オリンピック・パラリンピックに向け「東京ブランド」確立のために策定した「&TOKYO」事業に参加し、今後2020年までの期間「&TOKYO」ロゴとTOKYO Xロゴの併用シールも使用する。さらに、日本チームの金メダル取得の応援として金色のTOKYO Xロゴマークが登場させるとのことだ。TOKYO Xの2015年の年間出荷量は約



植村光一郎会長



沖谷明紘名誉教授

8000頭で、2020年に2万頭を目指す。

総会後の記念講演には日本獣医生命科学大学の沖谷明紘名誉教授が登壇。黒毛和牛をドライエイジングすることで醸成される独特の甘い香りである「和牛香」が和牛のおいしさの要因の一つであることを紹介し、TOKYO Xも長期熟成することで独自の香りが出る可能性があることを示唆した。

## トピックス

### 学生サークルが「酪農を知ろう！プロジェクト」開催

「酪農を知ろう！プロジェクト」が5月15日、日本獣医生命科学大学(東京都武蔵野市)で開催された。主催は同大学の学生サークル「うし活Jr.」(部長=同大3年生・高橋帆乃佳さん)。

同イベントは牛と接することの少ない都市の消費者に対し、酪農に興味を持つきっかけを作ることや、酪農家の生の声を届けることを目的としている。酪農家を交えたグループディスカッションが行われたほか、岡山県真庭市を舞台に酪農家の青年を描く「ひかりのおと」(山崎樹一郎監督)が上映された。

グループディスカッションには関東近郊から約10人の酪農家に参加。「後継者ブース」「女性ブース」「お仕事ブース」の3つのグループに分かれ、活発な意見交換を行った。女性ブースでは、酪農家に嫁入りした女性に対し、



事務局メンバー。左から顧問の長田雅宏准教授、うし活関東支部の栗原丈治さん、うし活Jr.の西尾直也副部長、高橋帆乃佳部長、うし活関東支部の碓屋のぞみさん

女子学生から「酪農家の嫁になる際の心構えは」という質問がなされ、「酪農家だからと構えることはない。また、両親は酪農に関して“スーパーマン”なので、頼りになる」とアドバイスを受けるなど、交流を深めていた。